

ついて；田中 豊博士記念事業について羽田専務理事より説明、質疑応答のものを承認。

◎各種委員会

(1) 岩盤力学委員会編集打合せ(41.4.18) 出席者：関係者4名。議事：「土木技術者のための岩盤力学」の編集(第7章、第8章前半)。

(2) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会(41.4.18) 出席者：国分委員長、樋口主査、ほか23名。議事：無筋コンクリート標準示方書第4次原案の逐条審議を行なった。

(3) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会軽量コンクリート分科会(41.4.18) 出席者：国分委員長、ほか16名。議事：人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)について検討した。

(4) 第2回シールド工法小委員会(41.4.19) 出席者：西嶋委員長、藤藤副委員長、ほか17名。議事：1) 前回議事録について。2) シールド工事調査項目原稿のとりまとめ。3) トンネル工学シンポジウム開催について。4) 予算(案)について。

(5) 学術講演連絡委員会(41.4.19) 出席者：林委員長、ほか9名。議事：1) 昭和41年度夏期講習会の件。2) 総会および年次学術講演会のアンケートの件。3) 委員交代の件。

(6) 本州四国上部構造に関する専門部会材料調査打合せ(41.4.21) 出席者：関係者15名。議事：省略。

(7) 土木製図基準改訂委員会(41.4.21) 出席者：菊池委員長、ほか11名。議事：前回幹事会(3月17日開催)に引きつづき土木製図基準(I)の改訂につき島田幹事作成の改訂案について各項の検討を行なった。

(8) 土木年鑑編集委員会第6編打合せ(41.4.21) 出席者：北川主査委員、ほか7名。議事：1) 第6編の編集方針確認。2) 細目次検討。3) 同担当者内定。

(9) 土木年鑑編集委員会第4編第2章打合せ(41.4.21) 出席者：多田委員(章・班長)、片山副委員長、ほか5名。議事：1) 第4編第2章の細目次検討。2) 同執筆依頼先内定。

(10) 本州四国連絡橋打合せ(41.4.22) 出席者：関係者6名。議事：省略。

(11) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会軽量コンクリート分科会幹事会(41.4.22) 出席者：関係者4名。議事：人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)最終原稿のとりまとめを行なった。

(12) 原子力関係コンクリート小委員会模型容器設計分科会打合せ(41.4.25) 出席者：関係者10名。議事：模型容器に関する高水圧試験の見学を行なった。

(13) 本州四国連絡橋打合せ(41.4.25) 出席者：関係者4名。議事：省略。

(14) 第1回原子力土木技術委員会(41.4.25) 出席者：左合委員長、ほか11名。議事：1) 委員長挨拶。2) 経過報告。3) 委員会構成について。4) 内規について。5) 前回議事録について。6) 第3回理工学における同位元素研究発表会について。7) 今後の運営について。

(15) 第4回トンネル土圧調査小委員会(41.4.26) 出席者：村山委員長、ほか16名。議事：1) 簡易測定器の解説；①コンタクトゲージ、②光弾性、応力塗料、③直視歪計、パーニヤスケール。2) 小委員会のあり方について。

(16) 第4回トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会(41.4.26) 出席者：坂本委員長、ほか14名。議事：1) 講演「支保工応力の影響線の計算方法について」；京大 岡 行俊氏。2) 小委員会資料(II)について。3) 鋼アーチ支保工模型試験、その1。4) 今後の予定について。

(17) 出版企画委員会(41.4.26) 出席者：森委員長、春日屋副委員長、ほか2名。議事：1) 各出版物の進捗状況について。2) 委員の交代について。3) 41年度の予算について。4) その他。

(18) 岩盤力学委員会打合せ(41.4.27) 出席者：関係者3名。議事：1) 岩盤力学委員会のあり方について；①委員会構成、②内規、③運営方針。2) その他。

(19) 会誌編集委員会(41.4.28) 出席者：樋口委員長、ほか16名。議事：1) 学会誌原稿投稿状況報告。2) 第21回年次学術講演会報告の取扱い方について。3) 原稿執筆依頼について。4) 懸賞論文募集について。5) その他。

◎昭和41年度評議員選挙結果

4月に各支部ごとに執行した昭和41年度評議員選挙の当選者はつぎのとおりである。

北海道	小川 博三	北海道大学教授
	林 正道	北海道開発局土木試験所コンクリート研究室長
東北	森田 義育	KK地構組技術顧問
	岩崎 敏夫	東北大学教授
	小山 和雄	国鉄東北支社施設調査役
関東	平手久之助	宮城県土木部長
	秋永 規輔	神奈川県土木部長
	石川 吉弥	前出建設工業KK技術研究部次長
	生出 久也	鹿島建設KK土木企画部次長

大久保喜市	首都圏整備委員会計画第2部調整官	
大地 羊三	法政大学教授	
岡部 達郎	国鉄施設局保線課長	
奥村 武正	東京都港湾局計画部長	
金沢 良	KK間組大官工場長	
川崎 敏視	日本鉄道建設公団計画部計画課長	
川瀬 正俊	KK熊谷組仙台支店長(東京勤務)	
北岡寛太郎	国鉄施設局保線課長	
君島 博次	電力中央研究所土木第2部構造第1研究室長	
小池 誉	西松建設KK技術研究部次長兼現業部長	
堺 毅	日本大学教授	
神保 正義	日本道路公団京浜建設局建設部長	
高橋 裕	東京大学助教授	
西沢 治	KK大林組東京支店土木部長	
細田 和男	水資源開発公団工務部長	
増岡 康治	建設省大臣官房技術調査官	
宮地 一郎	東京電力KK梓川水力建設本部	
望月 邦夫	建設省河川局計画課長	
山川 尚典	日本道路公団企画調査部長	
横田 周平	KK東京鉄骨橋梁製作所常務取締役	
中部	内田 富雄	国鉄岐阜工務局次長
	小野 一良	金沢大学教授
	永田 修三	名古屋水道局
	羽島 英二	国鉄中部支社調査役
	藤田 泰二	愛知県土木技監
	吉村 六夫	日本道路公団高速道路名古屋建設局建設部長
関西	明石外世樹	立命館大学教授
	河村 重俊	大阪市総合計画局長
	小西 一郎	京都大学教授
	晶山 実	日本道路公団大阪支社長
	畑中 元弘	神戸大学教授
	深井 浩三	日本技術開発KK大阪支社長
	松本 文彦	国鉄大阪工務局長
	三野 定	建設省近畿地方建設局長
	宮崎虎太郎	兵庫県土木部長
中国四国	大塚 全一	建設省中国地方建設局長
	竹内 孝熊	国鉄四国支社施設部長
	袴田 恒夫	広島県土木部長
西部	有田 達	日本道路公団福岡支社工務部長
	山崎 徳也	九州大学教授

支部だより

◎北海道支部

◎北海道支部奨励賞

昭和41年2月21日支部研究発表会において発表された論文報文22編は、技術資料第22号として刊行(本印刷)されたが、その中からつぎの1編が支部奨励賞として選考された。

- ① 論文名：連続桁における地震時水平力の橋脚への分配について
- ② 受賞者：太田昌昭(正会員・昭和125年北大卒、網走開建を経て

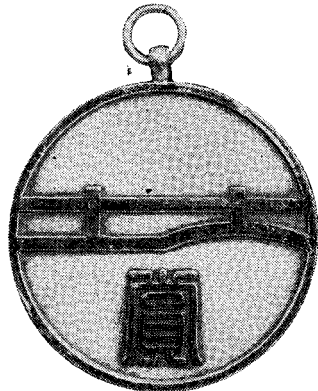
土木試験所勤務)

竹中勝好(正会員・昭和34年室蘭工大卒, 網走開建を経て札幌開建勤務)

ちなみにこの奨励賞は昭和36年より制度化され, 現在まで第6回を通過し受賞論文数: 技術上のもの3件, 学術上のもの9件, その受賞者18名をかぞえている。

また, 本賞には写真のメダルを授与しその功績を讃えている。

支部奨励賞メダル



表彰式は, 土木学会第52回通常総会が札幌市において開かれたのを機会に, 昭和41年5月27日通常総会議事終了後行なわれ, 佐佐支部長よりメダルおよび記念品が贈られた。

表彰状を受ける太田(左) 竹中(右)の両氏



◎関東支部

(1) 第2回幹事会(41.5.13, 土木学会)

出席者: 当支部長, 堺幹事長ほか9名  
議事: 行事担当部会の構成について, 諸行事の具体的計画について

◎関西支部

(1) 第4回商議員会(41.5.10, 好文倶楽部) 出席者: 玉井支部長, 松尾幹事長, ほか商議員19名, 評議員7名, 理事2名, 幹事15名。

(2) 第13回幹事会(41.5.10, 好文倶楽部) 出席者: 玉井支部長, 松尾幹事

長, ほか幹事15名。

(3) 商議員補選について

商議員	大村 裕	広島大学教授に転出後任として神戸大学教授 松梨順三郎
商議員	富所 克巳	大分県土木部長に転出後任として京都府土木建築部道路課長 寺本義男
商議員	花井 省三	千葉県土木部道路建設課長に転出後任として和歌山県土木部港湾課長 塔下真次

にそれぞれ委嘱した。

(4) 第39回通常総会(41.5.10, 好文倶楽部)

1) 総会: 1. 諸報告 2. 新役員紹介 支部長(昭和41年度)

	小西 一郎	京都大学教授
商議員(昭和41, 42年度)	青木 浩一	国鉄大阪工務局土木課長
	有坂 松樹	京都市建設局道路建設課長
	大西 英雄	大阪市港湾局技術部主幹
	長田 新平	大阪市水道局工務部工務課長
	小畑 英次	日本道路公園大阪支社設計課長
	橋高 俊二	第三港建神戸港工事事務所長
	国司 精一	京阪神急行電鉄KK企画室課長

	久保 弘一	大阪工業大学助教授
	樺木 亨	大阪大学助教授
	多田 政文	神戸市水道局工務課長
	中川 博次	京都大学助教授防災研究所
	林 保	国鉄関西支社工事課長
	藤城 弘之	奈良県土木部河川課長
	藤田 政市	鹿島建設KK大阪支店土木部長代理
	水野 俊一	大阪市立大学助教授
	柳田 保男	KK近畿復建事務所設計部第二課長

評議員(昭和41, 42年度)	明石外世樹	立命館大学教授
	河村 重俊	大阪市総合計画局長
	小西 一郎	京都大学教授
	畠山 実	日本道路公園大阪支社長
	畑中 元弘	神戸大学教授
	深井 浩三	日本技術開発KK大阪支社長
	松本 文彦	国鉄大阪工務局長
	三野 定	近畿地方建設局長
	宮崎虎太郎	兵庫県土木部長

3. 現, 新支部長挨拶  
2) 講演: 1. 日本万国博の運営について

日本万国博覧会協会事務総長 新井 真一  
代講日本万国博覧会協会業務部長 天野 開

2. 日本万国博の会場計画について 京都大学教授 工博 西山 卯三  
参加者 85名

(5) 総会懇親会(41.5.10, 好文倶楽部) 参加者: 48名(内招待関係19名), 参加費: 500円

(6) 昭和41年度委嘱幹事および幹事

幹事長	伊藤 富雄	大阪大学教授
幹事	赤野 豊	KK大林組工務部長
	上田 明	西松建設KK関西支店長
	上林 達郎	阪神高速道路公園工務部工務第一課長
	尾山 一郎	大阪市総合計画局計画部主幹
	金屋敷忠儀	近畿地建琵琶湖工務事務所長
	児玉 武三	大阪工業大学助教授
	小林 二郎	KKオリエンタルコンサルタント大阪支社長
	近藤 時夫	国鉄天王寺鉄道管理施設部長
	瀬良 茂	KK片山鉄工所橋梁部長
	鷺 継男	ピー・エス・コンクリートKK大阪営業所長
	谷本 喜一	神戸大学教授
	玉井 撰郎	(財)日本万国博覧会協会建設部長代理
	戸谷 松司	兵庫県土木部河川課長
	中埜 肇	阪神電気鉄道KK工務部次長
	畠山 直隆	立命館大学教授
	松尾 寿一	近畿地建企画室長
	松本 正	大阪府土木部高潮課長
	三瀬 貞	大阪市立大学教授
	室田 明	大阪大学教授
	山田 善一	京都大学助教授

(7) 騒音振動委員会設置について

関西支部では騒音振動委員会を設置しつぎのとおり委員を委嘱した。

委員長	庄司 光	京都大学教授
委員	伊藤 富雄	大阪大学教授
	上林 達郎	阪神高速道路公園工務第一課長
	荻野 仁	近畿地建第二阪神国道工務事務所副所長
	金盛 弥	大阪府土木部河川課技師
	後藤 尚男	京都大学教授
	田中 茂徳	日本道路公園大阪支社工務部工務課長
	谷本 喜一	神戸大学教授
	中井喜一郎	神戸市理立事業局西部埋立工務事務所長
	半谷 哲夫	国鉄大阪工務局次長
	森田 長雄	京都市計画局技術長
	山田 善一	京都大学助教授
	渡辺 清治	KK大林組技術研究所振動研究室長
委員兼幹事長	畑中 元弘	神戸大学教授
委員兼幹事	谷川 敏夫	大阪市総合計画局公害対策部技術課長
	鳥海 勲	福井大学教授
	畠山 直隆	立命館大学教授
	山本 剛夫	京都大学教授
	横山 実	神戸市土木部道路部補修課長

(8) 騒音振動準備委員会(第2回) および第1回騒音振動委員会(41.5.23, 土木学会関西支部会議室) 出席者: 庄司委員長, ほか14名。

(9) 「都市再開発」講演会(41.5.20, 大阪科学技術センター) 共催: 土木学会・日本建築学会・都市計画学会 協賛: 国際住社会議運営委員会

題目と講師：都市再開発について  
I.F.H.P 都市再開発委員会委員長，ペンシルバニア，ピッツバーグ大学院教授  
Geoge S. Puggar 参加者 156 名

(10) 土木構造物の振動と安全性に関する講習会 (41.5.24~25, 大阪科学技術センター)

題目と講師  
(第1日)

1. 構造物の振動理論

- 京都大学助教授 工博 白石 成人  
2. 構造物の座屈安定 東京大学教授 工博 奥村 敏恵  
3. 不規則振動理論 東京大学講師 工博 伯野 元彦  
4. 土木構造物の耐震設計 京都大学教授 工博 後藤 尚男  
5. 建築構造物の耐震設計の最近の傾向 京都大学教授 工博 金多 深  
6. 擁壁の動的土圧 名古屋大学教授 工博 市原 松平  
(第2日)

7. 橋梁の衝撃 京都大学助教授 工博 山田 善一  
8. 構造物の安定性と信頼性に関する理論 神戸大学教授 工博 西村 昭  
9. 鋼構造物の極限強度 名古屋大学助教授 工博 福本 晴士  
10. 振動測定と振動障害 神戸大学教授 工博 畑中 元弘  
11. 風による構造物の振動現象 大阪市立大学助教授 工博 小松 定夫  
参加者：367 名

編集後記

会誌のツンドク率が減少した。会員数が増勢の一途をたどっている。不景気にもかかわらず広告スポンサーの支持がよ……などという声を耳にするたびに、ひとえに会員諸兄のご声援のたまものと編集委員・編集課員一同は感謝して参りました。月刊誌のお世話は単行本と違っていろいろ気骨の折れるものですが、名編集委員長八十島さんの切り開かれた道をとにかく大過なく進んできたことに今は安らぎを覚えております。

黒四，高速道路，若戸，天草大橋，新幹線と相ついだ大ヒットのお蔭で世間における土木の評価は根本的に改められたようです。建築学会賞しかとりあげていなかったマスコミも土木賞に眼を向けるようになり，本四連絡ルート争いが派手になると「とにかくいまの段階で政治家や政府に厳正中立たれといっても無理だ。もうこうなつては学者の良心にかけて日本土木学会（原文のまま）が最終的な結論まで出す以外にない」と評論家の先生にまで期待されるほど学会も出世して参りました。

国内だけでなく国際的な日本土木の評価が画期的に高められてきた昨今の急激な新展開が背景にあったため，学会誌の編集にタッチさせて頂いた私どもは歴史の大きな流れを進めるのに何分の一役かかっているのではないかと錯覚を起こすほど時にはやりがいも覚えたものです。問題点をさぐったり特集に当って担当委員幹事，事務局の払われた異常な努力にたいしては委員長として深

甚の謝意をこの機会に捧げるものです。

時折会員諸兄からお叱りをうけましたが，白状しますと恐縮するまえに，こんな所も読んで頂いたのかと喜びが先にたちました。白状ついででまことに相すみませんが，ひとりよがりの編集で会員諸兄の意にそわなかった点の多かったことにつき衷心お詫びする次第です。

札幌大会の発表論文数は600を越え，このままでは学会誌内で紹介することが困難と思われるほどの盛況ぶりです。しかし「電気分野で出された特許実用新案が1年で1万件，そのうちドルをかせいだのはわずか2件」というソニー社長の嘆きを思い出すと手放しで喜んでばかりもおれない気がいたします。土木技術の海外進出を説かれた貴重な巻頭論説もいくつか丁載しましたが，本当にこのような次元の高い技術独立ムードの高まるのが今のわが国では最も望まれているのではないのでしょうか？

末筆ではありますが，ご多忙のなかを会誌のために原稿をお寄せいただいた各位，また機至らず登載することのできなかった原稿執筆者の各位に厚くお礼申し上げます。

つぎはいよいよ本山建設省から増岡委員長の登場，手をつけながら後始末をしなかった数々の不手際をお詫びするとともにご健闘を切に祈りながら筆をおきます。

〔退任 18 委員を代表して 樋口芳朗・記〕

土木学会誌編集委員

委員長	樋口 芳朗						
委員	浅谷 陽治	天野 礼二	茨木 竜雄	上田 勝基	大久保喜市	尾仲 章	北田 勇輔
	国広 安彦	黒崎 譲	小坂 忠	斉木 三郎*	堺 幸七	佐藤 尚徳	渋谷 祥夫*
	高橋 裕*	立石 俊一	寺尾 英二	豊島 修*	中村 正平	西 敏賢	前田 進
	安井 英夫	横山 義一	吉村 恒	米田 宗弘			
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中四支部)	(西部支部)
	河野 文弘	岩崎 敏夫	番 二郎	酒井清太郎	畑中 元弘	川上 賢司	徳光 善治
	渡辺 昇	倉西 茂	渡辺 健	増田 重臣	山田 善一	船越 稔	酒見 尚雄

\* 印幹事